

6年生の劇をみて涙流せるすばらしさ！

長和小学校 校長 葛西正敏

行事は竹の節のようなもの。日常の学習で培ってきた様々な態度、資質、能力が1点に収束される場であり、また、それを機にその後大きく成長していくための場である。



先日、行いました学校の行事の中でも大きな行事、学芸会を無事終えることができました。早朝より多くの保護者、家族、地域の皆様にご来校いただきました。心よりお礼申し上げます。皆様の拍手に込められた温かい励ましは、子どもたちの心に共鳴し、素晴らしい発表となりました。



この学芸会成功の成否を3つの視点で振り返ってみます。



1つ目のポイントは、『**真剣さ**』です。子どもの真剣さは、担任の真剣さです。仮に担任が真剣に向き合わず、茶を濁す指導をしていたとしたら、今回のような成功につなげることはなかったと思います。子どもたちの目は真剣でした。



2つ目のポイントは、『**過程と結果の両面を重視**』です。現在の評価（良い、悪い）は、結果至上主義ではなく過程を重視したものです。この考え方は間違っていないと思いますが、逆に過程至上主義（途中の取組が大事）となり、結果が軽視されているのではないかと思います。学芸会では、それぞれの発表を見に来てくださっているお客様がいるのですから、相手を意識した発表が必要です。発表が自己満足だけに終わらないことが大事です。すべての学年の発表は、保護者のみならず、お客様を引き付けていたと思います。6年生の劇をみて、本校の子どもたちが涙を流していました。結果も大事です。



3つ目のポイントは、『**達成感と成就感**』です。このことを学芸会という行事で味わわせることが大事です。もちろん叱責だけで子どもたちを指導することは論外です。少なくとも難しい練習を頑張り、出来なかったことが出来るようになり、観客の皆様から大きな拍手や賞賛をもらうことが子どもたちにとって一番やり遂げた喜びや自信をもたせる瞬間です。自分たちの発表を終えた子どもたちの顔は、輝いていました。



いかがだったでしょうか？子どもたちの考えたスローガン『みんなの心にのこる学芸会にしよう』になったのでしょうか？

学芸会で 大きな はっきりとした **節** をつくる事が出来ました！

ご協力ありがとうございました！

学芸会の後に行われた「友愛セール」はおかげ様で大盛況でした。パンや野菜の販売、PTAや地域の皆様のご協力によるバザーなど、たくさんの方で賑わいました。

お忙しい中、準備や当日の運営に携わってくださった長和小学校PTA環境整備委員会の皆様、本当にありがとうございました。

なお、収益金（¥76,600）につきましては全額、長和小学校の周年行事に活用させていただきます。



落ち着いた毎日を

30日に『生活リズムチェックシート』を配付します！
ご協力をお願いいたします。

学芸会を終え、これからの時期は落ち着いて生活し、学習に集中する必要があります。（※どの学校においても、1年間で生徒指導事例が最も増えるのは冬休みまでのこの時期です。）

学校では、児童とともに学習の約束を再確認し、魅力ある授業づくりを目指します。また、友達のがんばりやよさに目を向けながら、互いに高め合いながら学習・生活できるような指導を心掛けてまいります。

>>> ご家庭におきましては、以下の点についてご協力をお願いいたします <<<

- ① 子どもが「体調をくずすことのないような声かけや指導」をしましょう。
- ② 家庭での学習時間「学年×10分以上」の定着をめざしましょう。
- ③ 門限、テレビ、ゲーム、金銭など、「家庭の約束の確認と徹底」をお願いします。



自分で考えて行動できるように

24日、地震津波避難訓練を行いました。地震の後に津波が来るという想定で、全校児童は国道を若生方面に歩き、若生墓地へ向かう山道を登って配水池のある高台まで25分を経て避難しました（片道1.8Km）。

児童は、真剣な表情で訓練に参加し、避難経路を覚えるとともに、災害に対する意識が高まった様子でした。

【長和小学校 web サイト】 <http://www.city.date.hokkaido.jp/kyoiku/detail/00001173.html>